

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	BIG DAISHOWA株式会社 本社ビル	階数	地上5階、地下1階
建設地	大阪府東大阪市西石切町3丁目	構造	S造
用途地域	近接商業地域、防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年5月8日
敷地面積	801 m ²	作成者	清水建設株式会社
建築面積	581 m ²	確認日	2019年5月30日
延床面積	2,502 m ²	確認者	小坪 忠彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 85% (92 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 85% (92 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 85% (92 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	東大阪市の生駒山裾市街地に位置するオフィスビルの計画である。建物利用者が快適に過ごせる空調設備や、建物緑化にも取り組み、人と環境にやさしい設計としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	高遮音の建具の採用、ゾーニングを行った空調設備、F☆☆☆☆の建材の採用により、室内環境の向上に配慮した設計とする。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材料を使用することで、建物の信用性を高める。高度情報通信に対応したり、リフレッシュペースを広く設けるなど、建物利用者への機能性と快適性の向上を図る。
LR1 エネルギー	適切な断熱材を施し、外皮負荷抑制に努める。高効率の空調機を採用し、一次エネルギー消費削減に努める。	LR2 資源・マテリアル 節水に効果的な水栓、リサイクル材や再利用可能な建材を採用することで、省資源化に配慮した計画とする。
		Q3 室外環境(敷地内) 北面は上階になるほどセットバックさせて、屋上緑化に努めている。テラスを設け、建物の内外の中間領域の形成を図る。
		LR3 敷地外環境 附置義務以上の駐車・駐輪スペースを設け、周辺道路の渋滞緩和に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0049

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	BIG DAISHOWA株式会社 本社ビル計画						
	建設地	大阪府東大阪市西石切町3丁目						
	用途/区分	事務所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.7	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.1	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							